

笹川保健財団 地域啓発活動助成

2021年2月12日

公益財団法人 笹川保健財団

会長 喜多悦子 殿

2020年度地域啓発活動助成
活動報告書

標記について、下記の通り活動報告書を添付し提出いたします。

記

活動課題

ACP（人生会議）の啓発と今をいきいき生きるために必要なこと

活動団体名：特定非営利活動法人むゆうげん 訪問看護一会

活動者（助成申請者）名：原 享子

1. 活動内容・実施経過

(1)テーマ「私が大切にしたいこと」～終活トータルガイドさんをお迎えして～

(2)場所：香春町 町民センター 2階会議室

(3)開催日・時間

・1回目 9月27日（日曜日）10：00～13：30

・2回目 10月25日（日曜日）10：00～13：30

・3回目 11月29日（日曜日）10：00～13：30

(4)講師：大内田千恵三（オOUCHIダチエミ）

プロフィール：終活ガイド上級・終活ガイド検定認定講師・エンディングノート認定講師・自筆証書遺言作成認定講師その他

(5)定員：各開催日7名

昨年のケアカフェ参加者と訪問看護利用者・ご家族に声掛けし、参加者を募った。

終活の講演のほかに、参加者にもしバナゲームのカードをあらかじめ渡した。参加者に一人で行える・家族とできるそれぞれのゲーム方法を伝えカフェ当日感想を発表していただいた。

2. 活動の成果

今年度は、コロナ禍で感染予防を鑑み、人数制限や換気・消毒・蜜を避ける・手指消毒マスク着用などあらゆることに配慮しつつ3回のケアカフェを開催した。

そんな中で参加者から最も多かった意見は「**ワールドカフェ**」ができなかったことが**大変残念**だったというものだった。

「人生会議」が主なテーマだった前年度に続き、本年度も「終活」という重くなりがちなテーマであったが、前年はワールドカフェの各グループでの意見交換が大きな盛り上がりを見せ、結果として楽しく笑いを誘う催しになっていた。

今回は人数も少なくそれぞれ参加者は真剣に講演を傾聴されてはいたが、静寂の中に終わったという感否めない。

他に参加者の感想としては

- ・終活に関して今まで詳しく知らなかったがいろんな興味深い話を聞くことができ良かった。
- ・「私（自分）が大切にしていること」を改めて考え直してみたいと思った。
- ・エンディングノートをいただいたので考えながら記載していきたい。
- ・終活と言うと暗いイメージだが明るいお話の内容で楽しかった。
- ・家族とも明るく終活を話題にしていきたい。
- ・初めて知ったこともたくさんあり、今後参考にしたいと思った。
- ・コロナ禍であっても、ワールドカフェは何とか工夫してやってほしい。
- ・「死を考えることは、生を考えることだ」いかに自分らしく人生を生きていくか考える良い機会になった。
- ・元気だからこそ今、考えておかななくてはならないことと認識した。

自分だけの終活もだが家族の終活も考えていく必要があることが分かった。

3. 今後の課題

来年度ポストコロナがどのような状況になっているか計り知れないが、ワクチンを接種し、感染予防を継続していくことには違いないだろう。参加者の意見・希望を取り入れながらこのケアカフェは地域の人々の啓発や楽しみのためにも継続して開催したい。

4. 活動の成果等の公表予定（学会、雑誌）

特になし。